

## ペットのダイエット 50.8%が経験あり、72.0%が成功

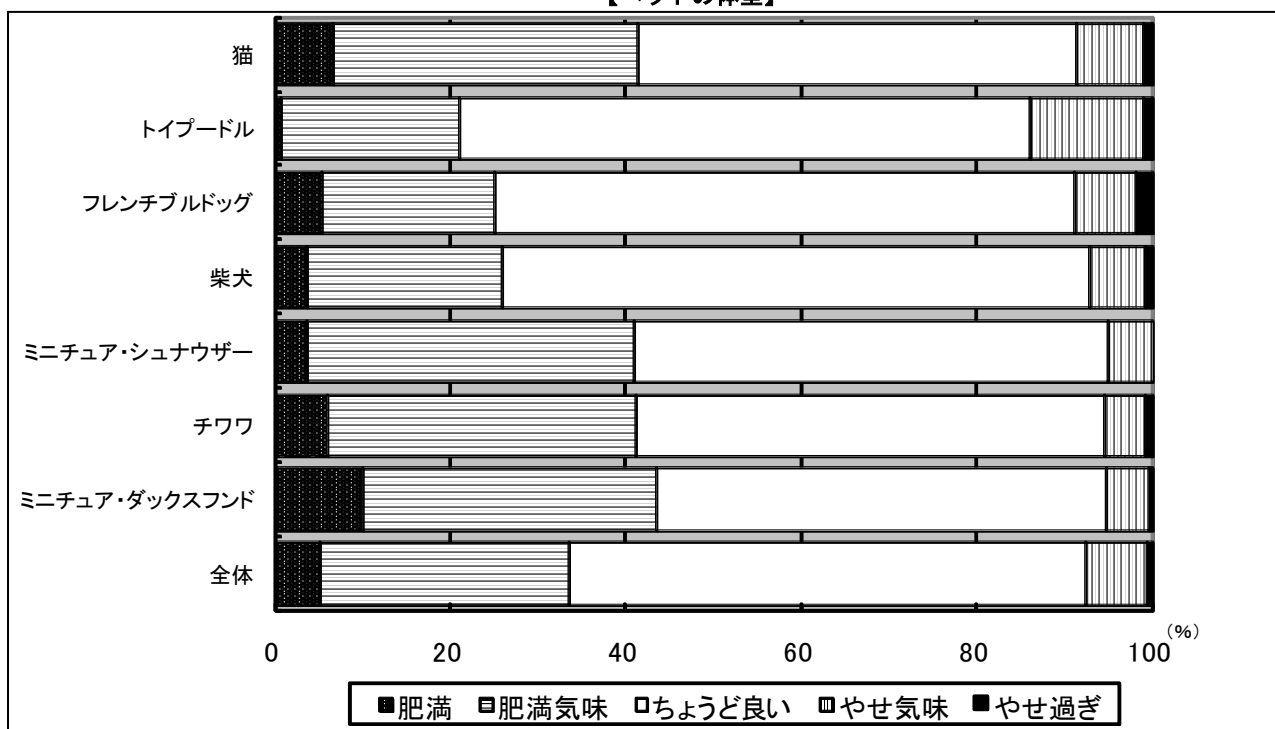
- ペットが「肥満」と感じている飼い主は 33.5%、ダックスフンドは 43.5%と犬種差あり
- かわいいけれど、健康の為にダイエットが必要と考える飼い主は 94.3%
- ダイエット方法は、食事の制限が 93.0%、飼い主と一緒に成功の秘訣

アニコム損害保険株式会社（代表取締役社長：小森伸昭）では、体育の日に合わせて、契約者に対してインターネット上でペットの運動と肥満に関する調査を行いました。

### ■ペットの肥満に犬種差あり

ペットの体型についてどのように感じているかを聞いたところ、「肥満」、「肥満気味」と感じている飼い主は全体で 33.5%でした。回答には、犬種によって違いが見られ、「トイ・プードル」では 21.0%が「肥満」「肥満気味」と答えているのに対し、「ミニチュア・ダックスフンド」では 43.5%でした。また、「猫」は 41.4%でした。

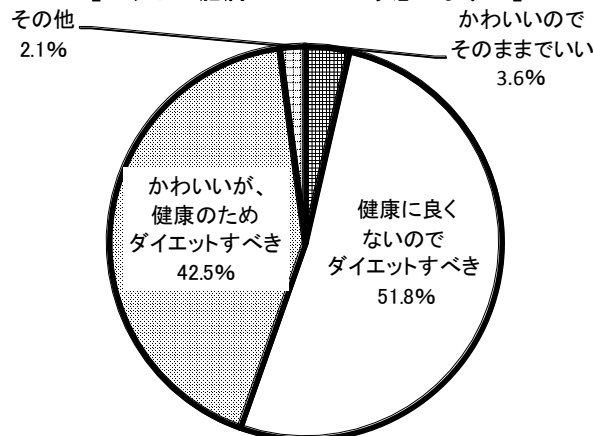
【ペットの体型】



### ■94.3%が「健康のためにダイエットすべき」と回答

「ペットの肥満についてどう思うか」という質問に対しては、「健康によくないのでダイエットすべき」との回答が 51.8%と半数を超え、「かわいいが、健康のためにダイエットすべき」と合わせると 9割を超える飼い主が、「ダイエットすべき」と回答しています。

【ペットの肥満についてどう思いますか】



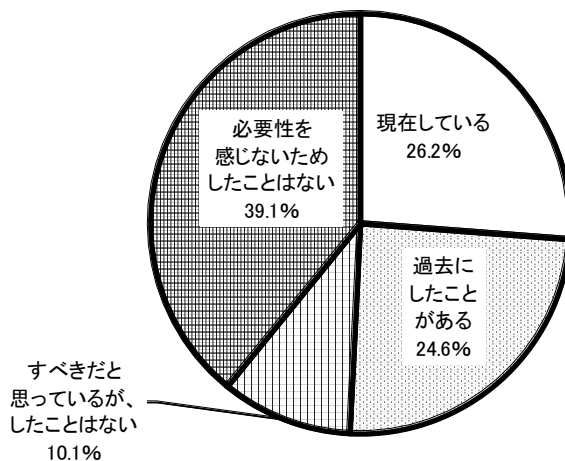
### ■50.8%がペットのダイエット経験あり

ペットのダイエット経験があるかを聞いたところ、「現在している」「過去にしたことがある」を合わせ、半数にあたる50.8%にダイエットの経験があることがわかりました。

ダイエットを始めたきっかけでは、「体重を測ったら増えていたので」が最も多く、「獣医師の指導で」「抱っこした時に重くなったと感じたので」と続きました。

ダイエットの方法では、「食事の内容、与え方を変えた」が93.0%となり、食事制限が主流でした。

【ペットのダイエットの経験】



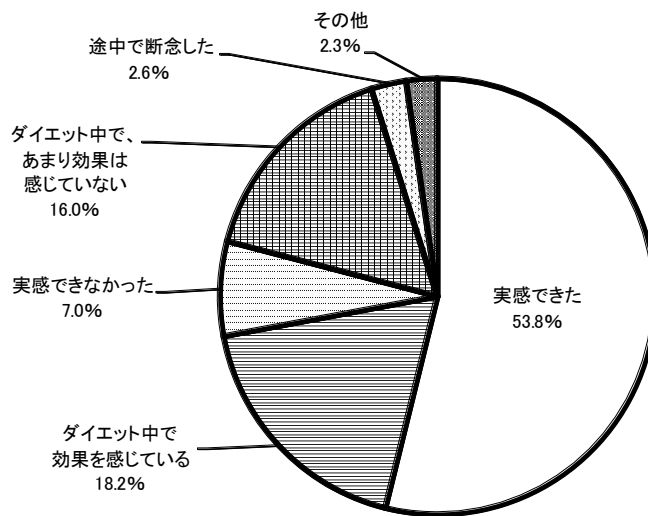
ダイエットを始めたきっかけ（複数回答）	人数(人)	割合(%)	ペットのダイエットの方法（複数回答）	人数(人)	割合(%)
体重を測ったら増えていたので	668	47.9	食事の内容、与え方を変えた	1,297	93.0
獣医師の指導で	623	44.7	おやつの内容、与え方を変えた	569	40.8
抱っこした時に重くなったと感じたので	265	19.0	運動の頻度、時間を変えた	218	15.6
散歩などの運動をあまり好まなくなったので	37	2.7	おやつを与えるのをやめた	149	10.7
友人、知人にすすめられて	16	1.1	ダイエットサプリを利用した	45	3.2
その他	111	8.0	その他	24	1.7

### ■72.0%がダイエットの効果を実感

「ダイエットの効果を実感できた」「現在、効果を感じている」という飼い主は72.0%で、ペットのダイエットの成功率が高いことがわかります。

ペットと一緒にダイエットに励んでいるという飼い主も多く、「愛猫をダンベル代わりに体操している」「一人では長い距離を歩けないが、愛犬にもっと遠くまで散歩したい！と言われれば頑張れる」「何かを食べると欲しがるので、間食しなくなった」「毎朝一緒に体重を計っている」など、様々な方法が聞かれました。中には、「犬と暮らし始め、規則正しい生活をするようになったら1年間で10キロ体重が減少した」という声も聞かれ、ペットのダイエットは、飼い主にも良い影響を与えているようです。

【ペットのダイエットの効果】



【調査方法】アニコム損保のペット保険「どうぶつ健保」契約者に対し、インターネット上でアンケートを実施  
 【実施期間】2011年9月22日～9月27日（有効回答数 2,752）